

“丸のみ” 米 国 要 求 協 議 事 前 P P T

自動車・保険などで 合意

首相発表

日本の環太平洋連携協定（TPP）参加に向けた米国との事前交渉が12日、合意に達しました。政府は同日、「日米協議の合意の概要」を発表しました。安倍晋三首相は同日夕、首相官邸で開いた関係閣僚会議で、TPPには「安全保障上の大きな意義がある」と強調しました。

安倍首相は、「TPPは経済的メリットに加え、同盟国の米国をはじめ、自由、民主主義、法の支配といった普遍的価値を共有する国々とのルールづくりであり、安全保障上の大きな意義がある」と述べました。

合意ではアメリカ側が求めていた課題に日本が譲歩した形となりました。自動車分野では、アメリカの関税撤廃を最大限、後ろ倒しすることで合意。また、TPP交渉と並行して日米間で別に交渉し、自動車の流通制度や安全基準、補助金制度などについて協議すると明記しました。さらに、保険や食品の安全基準などといった非関税措置についても、TPP交渉と並行して日米間で取り組むとしました。

そのうえで、日本には一定の農産品、アメリカには一定の工業製品といった配慮すべき品目

が両国にあることを認識しながら、TPPのルールづくりをすすめることなどを盛り込みました。

日本がTPPの交渉に参加するためには、すでに交渉に参加している11カ国の同意が必要で政府は、まだ同意を表明していないカナダ、オーストラリア、ニュージーランドとの事前協議をいそぐことにしています。

交渉への参加はやめるしかない

紙智子参院議員

（党農林・漁民局長）の話

BSE（牛海綿状脳症）対策の米国产牛肉の輸入規制は早々と緩和したのに続き、懸案となっていた自動車や保険でも米国の要求を日本政府は“丸のみ”してしまいました。日本が環太平洋連携協定（TPP）交渉に参加したいなら、「入場料」を払えという米国のいうがままです。

安倍首相は交渉によって「守るべきものは守る」といつてきましたが、事前協議ですらこれでは、本交渉で「守るべきもの」が守れるはずがありません。

TPPは、農林水産や食の安全をはじめ、暮らしや経済のあらゆる分野にかかわります。米国のルールで日本の国の形を変えてしまつてはなりません。日本のTPP交渉参加表明は撤回すべきです。TPP交渉参加の危険性を知らせ、国民的な共同をさらに広げ、撤回に追い込むため奮闘する決意です。

2013年4月13日(土)

小選挙区制廃止しかない

衆院予算委 穀田議員が追及

4割台得票で7〜8割議席 昨年

総選挙は53%が「死票」

日本共産党の穀田恵二国対委員長は9日の衆院予算委員会で、「政治改革」と称して導入された小選挙区制と政党助成金をとりあげ、廃止する以外にないと追及しました。

（論戦ハイライト）

政党助成金廃止も主張

穀田氏は、過去3回の衆院の選挙結果を示しながら、第1党が4割台の得票で7〜8割の議席を獲得し、「死票」も昨年総選挙では得票総数の53%に上るなど、民意をゆがめ、切り捨てるという小選挙

東日本地震・12号台風への

救援募金にご協力を

【郵便振替口座】

0017017198422

名義は、日本共産党中央委員会です。送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、「地震救援募金」である事の明記を。 磯城郡日本共産党議員団

選挙区は 候補者名で
「比例代表は 日本共産党」
など政党名で

区制度の持つ根本問題を指摘しました。

安倍晋三首相は、「その論点で（小選挙区制の導入に）反対していた」、公明党前代表の太田昭宏国交相も「小選挙区部分に死票が多いのは事実だ」と問題点を認めました。

議員定数の削減問題で穀田氏は、主要国と比べても日本の衆院定数は多くないと指摘しました。首相も「OECD（経済協力開発機構）加盟国の中でもっとも少ない」と認めました。一方で首相は、小選挙区「0増5減」法案について「成立しうるベストな案」と現行制度に固執し、比例定数30削減を狙う考えを示しました。

穀田氏は、民意を無視した消費税増税を押し付けたうえで、民意を反映する比例定数の削減は論外だと批判。党の抜本改革案 全国11ブロックの比例代表制に改革 総定数480議席を維持し、全ての定数を現行の比例11ブロックに人口比例で配分 を提起し、「民意を正確に反映し、投票価値の平等という問題も解決できる」と強調しました。

政党助成金制度について穀田氏は「税金なしには政党運営が成り立たない状況だ。『官営政党』ともいふべき状況をあらため、自立するのが当然だ」と指摘し、助成金の廃止を求めました。首相は「どこまで（税金に）依存していいか、真剣に議論すべきだ」と答弁しました。

同制度創設の1995年から2012年まで各党に交付された政党助成金の累計は5677億円にのぼることが政府答弁で明らかにされました。日本共産党は思想信条の自由を侵す憲法違反だとして受け取りを拒否しています。

2013年4月10日(水)

2013, 4, 16 NO. 601

日本共産党

磯城郡議員団だより

芝和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 862-7 0745-43-2415
吉田容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 113-5 090-5257-4446
森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 281-1 0744-33-8570
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

映画「ひまわり」

先日、映画「ひまわり」を鑑賞してきました。この映画は、1959年6月、沖縄・宮森小学校に米軍ジェット機が炎上墜落し、児童11名、近隣住民6名が犠牲となった大惨事を題材としたものを映画化したもので、沖縄復帰40年記念映画、今全国で上映中。

沖縄の米軍基地の成り立ち、米軍基地で働き、家族の生活が支えられている実態と沖縄の平和を追求していく両面からこの問題を提起し、沖縄の置かれている実態、米軍の婦女暴行や、交通違反などを挙げて罪になら

ない米軍最優先の政治が行われている様子を如実に表している映画であった。

沖縄・宮森小学校に米軍ジェット機が炎上墜落した事故にあつた被害者の、その後の生活、事故でなくなった児童の思いなどを、沖縄の大学生がゼミの中で追求、児童と先生、基地労働者と一般市民の感情、沖縄の実態を告発しようとして音楽コンサートを開いて共通のものにしていこうという過程がよく描けていました。

三宅町
池田年夫



皆で正そう！

気温の経過ですが。先週は、平年に比べてやや低めで今週は概ね平年並み。来週はやや低めとの事です。この繰り返して初夏に向かつて行くんでしょね。どちらかと言えば、これからの季節の移り変わりの方が、秋から冬にかけての時期よりも一般的には好まれていくように思うんですが、どうですかね。

私は、趣味がスキーです。秋から冬場のようにならぬ雪の感触を楽しみに行く事は有りません。有るのは練習のみになりますので、残雪を求めて緯度と標高の高い所へ転々と、と言つ事になります。

さて、誰もが求める景気の浮揚策ですが。期待

は膨らんでも実感は全然有りませんよ。それは庶民の懐具合を温める事なんです。消費が喚起され、内需が広がって、実感が沸くと言つ物です。

それにしても、我が国の政府は物すごく変わつてますよ。ルール作りをするねやったら、製造業を非正規禁止にすれば済む事ですが、そうしませんし、憲法も現状を憲法に合わそうとせずに、現状に憲法を合わそうと自身を改める事に熱心です。全くと理解に苦しみます。やっぱりこの姿勢、皆で正して行くしか有りません。

川西町議会議員
芝和也



住民投票条例の臨時議会

4月9日、田原本町が御所市内に、ごみ焼却場を建設することの可否についての意思を問う住民投票条例の臨時議会が開かれました。

住民の方々は二四〇〇筆以上の署名を集め、当日はモニター室まで溢れる程の傍聴人で、この件への関心の高さを物語っていました。

町長はこの条例案に対して意見書を提出しています。その中で「町長と議員は住民から選挙で選ばれ、間接民主主義での二元代表制をとっているのだから住民投票をすることは、この建設事業の取り組みの実態と矛盾す

ると述べています。

そこで私は「広報だけでなく、住民にどれだけ説明して来たのか？ 現に納得出来てないからこうして投票条例制定の請求が上がって来ているのでは。」などいくつか質問しました。そして「住民の皆さんは不安が一杯です。ごみ焼却場を御所に建設することを判断する資料や情報をおしげもなく提供する町長の意気込みと姿勢が欲しい。」

その町長の取り組み次第では町民の方々は充分納得して、協力して下さいるものと確信しています」と訴えました。

田原本議会議員
森良子



住民投票条例の審議から

先日、臨時議会が開かれ「田原本町が御所市内に、御所市および五條市と共同でごみ焼却場を建設することの可否についての意思を問う住民投票条例」を審議しました。

三〇人以上の方が傍聴にこられました。賛成少数（3人）で否決されました。その中で明らかにしたことをお知らせします。御所での建設が「用地があり、コストが安い」という理由で選択したのと。現在の焼却場継続や町内有力地三カ所との交渉、近隣市町との交渉については担当者レベルの交渉のみで真剣な取組をしてこなかったことが判

明しました。

御所に行ったときのみ収集体制についても真剣に考えられてないことが判明しました。収集車も人も増やさないで、一回目八時半から九時半、二回目一時から二時、三回目午後二時半から三時半の三回収集で対応するそうです。

こんなことになったら大変ですよ！丸一日中ごみが放つてあることになりません。ごみの多い日は収集不可能になります。燃えないごみや資源ごみの収集もできません。町長は、ごみ処理の実態を理解せず、責任を果すつもりはないようです。

田原本議会議員
吉田容工

